

ミニ展示

2011.5.7-30

# 岩手の装丁家たち

モリプロ参加企画



岩手県立図書館

装丁とは、「書物を綴じて、表紙・扉・カバー・外箱などをつけ、意匠を加えて本としての体裁を飾り整えること。また、その意匠。装本。」(『大辞林』)のことをいいます。素敵なデザインの本は思わず手にとってみたくなるもので、装丁は本を形作る大切な要素の一つといえます。

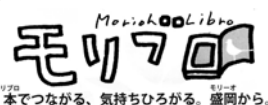
この展示では、岩手ゆかりの美術家が手がけた装丁を、当館所蔵資料からご紹介します。本を「読んで」だけでなく、「見て」楽しんでみませんか。

\*展示資料はすべて館外貸出できます。また、貸出中の場合は予約することができます。

## 「モリプロ」とは？

宮沢賢治が愛したエスペラント語の「モリーオ」と「リプロ」を合わせた造語。「モリーオ」は賢治作品「ポラーノの広場」に登場する盛岡がモデルと考えられる街の名、「リプロ」は「本」を指す言葉です。5月中、盛岡市内約30カ所ですべて本にまつわる様々な企画が開催されます。

【主催：まちの編集室内モリプロ実行委員会】



## 深沢 省三

ふかざわ しょうぞう  
明治32年—平成4年(1899—1992)

盛岡市生まれ。洋画家、童画家。盛岡中学(現盛岡一高)を経て、東京美術学校(現東京芸大)卒。大正9年帝展で「九月」が入選。児童雑誌「赤い鳥」「子供之友」などの挿絵をかき、昭和2年日本童画家協会を結成。岩手大学教授もつとめた。

赤い鳥 昭和2年4月号 第18巻第4号復刻版	鈴木三重吉    主幹 深沢省三    表紙	日本近代 文学館	1981
赤い鳥 昭和10年8月号 復刊第10巻第2号復刻版	鈴木三重吉    主幹 深沢省三    表紙	日本近代 文学館	1981
赤い鳥 昭和10年9月号 復刊第10巻第3号復刻版	鈴木三重吉    主幹 深沢省三    表紙	日本近代 文学館	1981

## 深沢 紅子

ふかざわ こうこ  
明治36年—平成5年(1903—1993)

盛岡市生まれ。盛岡高女(現盛岡二高)から東京女子美術学校(現女子美術大学)に進む。大正14年二科展に初入選。昭和11年一水会に参加、常任委員として活躍する。昭和22年、夫・省三と郷里の若い人のための岩手美術研究所を発足。同23年には女流画家協会を設立。著書に随筆集『絵のある詩集』『追憶の詩人たち』など。

追憶の詩人たち	深沢紅子    著・ 装画	教育出版 センター	1979
遠い風	高橋迪子    著 深沢紅子    装釘	遠い風刊 行会	1983
教え子物語	三好京三    著 深沢紅子    装画	文芸春秋	1984
田園の食卓	太田愛人    著 深沢紅子    装画	築地書館	1987
ふたりの夫からの贈りもの	長岡輝子    著 深沢紅子    装丁	草思社	1988

## 栗木幸次郎

くりき こうじろう  
明治40年—昭和56年(1907—1981)

盛岡市生まれ。盛岡中学を中退し上京、大正14年『日本詩人』に応募した「色彩に呼吸する」が第2部に入選。昭和初年頃は詩を書き、巽聖歌・森荘己池・草野心平などの詩人や、松本竣介ら芸術家と交流。銀座でデザイン会社を興すが戦争により解散、終戦後盛岡に帰り、新岩手社(現岩手日報社)に入社、編集や挿絵の仕事を数多く行った。

ゲロ伯爵伝	八並誠一    著 栗木幸次郎    装幀	文学草紙社	1972
北窓の風景	小野寺苓    著 栗木幸次郎    装丁	おのまさ	1977

## 舟越 保武

ふなこし やすたけ  
大正元年—平成14年(1912—2002)

一戸町生まれ。東京美術学校彫刻科卒。昭和15年頃から独学で大理石彫刻を始める。同20~26年まで盛岡に疎開し、様々な雑誌の表紙絵や挿絵を担う。同42年東京芸大教授。同43年田沢湖畔に「たつこ像」設置。平成11年文化功労者。直彫りによる石彫の第一人者。

ゲロ伯爵伝	八並誠一    著 舟越保武    装本	新光閣書店	1963
-------	-------------------------	-------	------

## 高橋 忠彌

たかはし ちゅうや  
明治45年—平成13年(1912—2001)

東京生まれ。母親の出身地盛岡で9歳から暮らし、昭和2年岩手師範学校入学、美術団体「素顔社」同人。同6年独立美術協会展入選。小学校教員を経て24歳で上京、画業専念の生活に入る。同24年独立美術協会会員。同40年渡仏し、51年帰国。洋画のほか、昭和13年頃から手かげるようになった装丁の分野でも一時代を築いた。

人間啄木	伊東圭一郎    著 高橋忠弥    装幀	岩手日報社	1959
啄木の妻 上中下	渡辺喜恵子    著 高橋忠弥    装幀	毎日新聞社	1980
南部めくら暦 加藤文男詩集	加藤文男    著 高橋忠弥    装幀	花神社	1987
南部九戸落城	渡辺喜恵子    著 高橋忠弥    装画装幀	毎日新聞社	1989

## 前川 直

まえかわ ただし  
昭和4年—昭和63年(1929—1988)

長崎県佐世保市生まれ。昭和27年東京美術学校本科彫刻科卒。デザイン事務所勤務後、さまざまな企業でデザインを担当、また武蔵工業大学デザイン科講師などをつとめる。同44年岩手大学助教授となり盛岡に在住。同45年『安部公房戯曲全集』で第5回造本装幀コンクール・全集部門銀賞受賞。

孤獨な藝術幻想	河上徹太郎    著 前川 直    装画	新潮社	1956
安部公房戯曲全集	安部公房    著 前川 直    装幀	新潮社	1970
花時計 1~3 随想集	岩手日報社    編 前川 直    装幀	熊谷印刷 出版部	1981
日本に生きる シルクロード	仏教伝道協会    編 前川 直    装幀	広済堂 出版	1981
風の記憶	駒井耀介    著 前川 直    装丁	盛岡第一 書肆	1982

## 村上 善男

むらかみ よしお  
昭和8年—平成18年(1933—2006)

盛岡市生まれ。昭和28年第38回二科展に初出品後、46回展まで連続出品。同37年第6回シェル美術賞展第3席受賞。同57年弘前大学教授となる。現代美術の第一線作家として個展・美術館企画展に作品を発表、また美術評論も多数。

メルカトル図法 詩集	内川吉男    著 村上善男    装幀	火山弾の 会	1986
遠い篝火 八重樫哲詩集	八重樫哲    著 村上善男    装幀	火山弾の 会	1986
今も見る夢 詩集	吉田慶治    著 村上善男    装幀	Laの会	1987
松本竣介とその友人 たち	村上善男    著・装釘	新潮社	1987
火と雪の森	戸石泰一    著 村上善男    装幀	津軽書房	1993
萬鐵五郎を辿って	村上善男    著・装幀	創風社	1997

<span>福田 繁雄</span>	ふくだ しげお <div>昭和7年－平成21年（1932－2009）</div>
--------------------	--

東京都生まれ。母の郷里二戸市に疎開。福岡高校を経て東京芸大図案科卒。ワルシャワ国際ポスタービエンナーレ金賞、芸術選奨新人賞、通産大臣デザイン功労賞など受賞多数。平成9年紫綬褒章。日本グラフィックデザイナー協会会長、東京芸術大学客員教授などをつとめた。戦後日本のグラフィックデザインの第一人者。

<b>福田繁雄作品集</b>	福田繁雄 <span> </span> ∥ <span> </span> 著・装幀ブックデザイン	講談社	1979
<b>福田繁雄のトリックアート・トリップ</b>	福田繁雄 <span> </span> ∥ <span> </span> 著・ブックデザイン・撮影	毎日新聞社	2000


<span>荒田 秀也</span>	あらた ひでや <div>昭和10年－（1935－）</div>
--------------------	----------------------------------

二戸市生まれ。装幀・装画家。昭和35年武蔵野美術学校卒。同48年、造本装幀コンクールでユネスコ・アジアセンター賞受賞。同60年、日本図書設計家協会会員。亜大陸の文化伝播に魅せられ、騎馬民族チュルク(突厥)が遙か遠い祖先では…と夢見ている。

<b>ブラリ胡人</b>	荒田秀也 <span> </span> ∥ <span> </span> 装幀・装画	ハルプーザ	1992
<b>アジアの海と伊万里</b>	大橋康二 <span> </span> ∥ <span> </span> ほか著荒田秀也 <span> </span> ∥ <span> </span> 装丁	新人物往来社	1994
<b>騎馬民族の道はるか</b>	森浩一 <span> </span> ∥ <span> </span> ほか著荒田秀也 <span> </span> ∥ <span> </span> 装幀	日本放送出版協会	1994
<b>敦煌への道 上下</b>	石嘉福 <span> </span> ∥ <span> </span> ほか著荒田秀也 <span> </span> ∥ <span> </span> 図書設計	日本放送出版協会	1995
<b>海の中国</b>	渡辺利夫 <span> </span> ∥ <span> </span> ほか著荒田秀也 <span> </span> ∥ <span> </span> 装幀	弘文堂	2001
<b>国境という幻</b>	根本百合子 <span> </span> ∥ <span> </span> 著荒田秀也 <span> </span> ∥ <span> </span> 装幀・装画	石風社	2004


<span>及川 利春</span>	おいかわ としはる <div>昭和22年－（1947－）</div>
--------------------	------------------------------------

江刺市(現奥州市)生まれ。水沢高校を経て、昭和47年武蔵野美術大学造形学部産業デザイン学科卒。講談社「グラフィックデザイン」編集部勤務の後、岩手に帰郷し川口印刷工業(株)企画デザイン課に勤務。同61年、及川デザイン室を設立。県内外の物産開発および地域の文化産業振興事業にデザイナーの立場で参画している。

<b>染むる糸</b>	山崎文子ルーム <span> </span> ∥ <span> </span> 編装丁・レイアウト <span> </span> ∥ <span> </span> 及川利春	山崎文子ルーム	1982
<b>盛岡劇場ものがたり</b>	盛岡劇場史編集委員会 <span> </span> ∥ <span> </span> 編及川利春 <span> </span> ∥ <span> </span> AD&D	岩手日報社	1996
<b>まちは生きているか</b>	佐藤優 <span> </span> ∥ <span> </span> 著及川デザイン室 <span> </span> ∥ <span> </span> デザイン	在研究所	1997
<b>筆一貫追想・及川豪鳳</b>	及川デザイン室 <span> </span> ∥ <span> </span> 編集	及川デザイン室	1998
<b>江戸の若き長英上下</b>	岩淵憲次郎 <span> </span> ∥ <span> </span> 著	胆江日日新聞社	2005

<span>工藤 強勝</span>	くどう つよかつ <div>昭和23年－（1948－）</div>
--------------------	-----------------------------------

西根町(現八幡平市)生まれ。盛岡工業高校卒。桑沢デザイン研究所グラフィックデザイン研究科中退。昭和51年デザイン実験室設立。様々な分野のエディトリアルデザイン・ディレクションを担当。造本装幀や、展覧会のポスター・図録デザインを手がけるほか、グラフィックデザイン等の評論を著す。首都大学東京システムデザイン学部教授。

<b>遠野ノ物語考</b>	赤坂憲雄 <span> </span> ∥ <span> </span> 著工藤強勝・竹内雄二 <span> </span> ∥ <span> </span> 装幀	宝島社	1994
<b>岩手県立美術館所蔵作品選</b>	岩手県立美術館 <span> </span> ∥ <span> </span> 編集工藤強勝ほか <span> </span> ∥ <span> </span> デザイン	岩手県立美術館	2001
<b>遠野展</b>	岩手県立美術館 <span> </span> ∥ <span> </span> 編集工藤強勝ほか <span> </span> ∥ <span> </span> デザイン	岩手県立美術館	2002
<b>名作の読解法</b>	塚崎幹夫 <span> </span> ∥ <span> </span> 著工藤強勝 <span> </span> ∥ <span> </span> 装幀	原書房	2003
<b>春陽会</b>	萬鉄五郎記念美術館 <span> </span> ∥ <span> </span> 編工藤強勝ほか <span> </span> ∥ <span> </span> デザイン	萬鉄五郎記念美術館	2003
<b>デザイン解体新書</b>	工藤強勝 <span> </span> ∥ <span> </span> 監修	ワークスコーポレーション	2006
<b>編集デザインの教科書</b>	工藤強勝 <span> </span> ∥ <span> </span> 監修エディトリアルデザイン日経デザイン <span> </span> ∥ <span> </span> 編	日経BP社	2008

<span>菊池千賀子</span>	きくち ちかこ <div>昭和31年－（1956－）</div>
--------------------	----------------------------------

遠野市出身、名古屋育ち。愛知県立芸術大学デザイン科卒。福武書店(現ベネッセコーポレーション)入社後、広告宣伝部に勤務。その後、(有)岡村デザイン事務所で広告とエディトリアルデザインの現場を経験。30歳でフリーランスになり現在に至る。

<b>森村誠一読本</b>	山前謙 <span> </span> ∥ <span> </span> 編菊池千賀子 <span> </span> ∥ <span> </span> 装丁・本文デザイン	KSS 出版	1998
<b>闘ってこそ校長!</b>	三宅良昌 <span> </span> ∥ <span> </span> 著菊池千賀子 <span> </span> ∥ <span> </span> カバーデザイン	立風書房	2002
<b>家紋で読み解く日本の歴史</b>	鈴木亨 <span> </span> ∥ <span> </span> 著菊池千賀子 <span> </span> ∥ <span> </span> 装丁	学研	2003

<span>木村 敦子</span>	きむら あつこ <div>昭和43年－（1968－）</div>
--------------------	----------------------------------

盛岡市生まれ。仙台、青森でデザイン事務所勤務後フリーとなり、イラストも描くデザイナーとして現在に至る。平成17年、盛岡のふだんを綴る本「てくり」発刊。まちの編集室エディター&アートディレクターとしても活動中。同18年岩手広告賞グラフィックの部受賞。

<b>森の暮らしたいまぐら便り</b>	安部智穂 <span> </span> ∥ <span> </span> 著木村敦子 <span> </span> ∥ <span> </span> デザイン	アノニマ・スタジオ	2008
---------------------	---	-----------	------

<span>矢部 綾子</span>	やべ あやこ <div>昭和46年－（1971－）</div>
--------------------	---------------------------------

二戸市生まれ。女子美術大学卒業後、CAP、groovisions、フリーランスの時期を経て平成14年に独立。山野英之氏と2人で「y&y」として活動した後、同17年「kidd」設立。書籍・雑誌・カタログ・CDジャケットなどのデザインを手掛ける。

<b>コレクタブル絵本ストア</b>	矢部綾子 <span> </span> ∥ <span> </span> アートディレクション・デザイン	ピエ・ブックス	2004
--------------------	--	---------	------

<span>名久井直子</span>	なくい なおこ <div>昭和51年－（1976－）</div>
--------------------	----------------------------------

盛岡市生まれ。平成9年武蔵野美術大学視覚伝達デザイン学科卒業後、広告代理店に入社。同17年に独立。以後、フリーランスとして活動。装丁を中心に、数多くのグラフィックデザインを手がける。ベストセラー作家の本の装丁も多く、また小説から漫画・絵本に辞書までと、幅広い分野で活躍中。

<b>東京和のおやつどき</b>	春日一枝 <span> </span> ∥ <span> </span> 著名久井直子 <span> </span> ∥ <span> </span> 著・装丁・本文DTP	小学館	2005
<b>憂鬱なハスピーン</b>	朝比奈あすか <span> </span> ∥ <span> </span> 著名久井直子 <span> </span> ∥ <span> </span> 装幀	講談社	2006
<b>先端で、さすわさされるわそらええわ</b>	川上未映子 <span> </span> ∥ <span> </span> 著名久井直子 <span> </span> ∥ <span> </span> 装丁	青土社	2008
<b>はじまらないティータム</b>	原田ひ香 <span> </span> ∥ <span> </span> 著名久井直子 <span> </span> ∥ <span> </span> 装幀	集英社	2008
<b>イギリス海岸イーハトーヴ短篇集</b>	木村紅美 <span> </span> ∥ <span> </span> 著名久井直子 <span> </span> ∥ <span> </span> 装丁	メディアファクトリー	2008
<b>ウソ読みで引ける難読地名</b>	篠崎晃一 <span> </span> ∥ <span> </span> 監修名久井直子 <span> </span> ∥ <span> </span> 装丁・本文デザイン	小学館	2008
<b>魚神</b>	千早茜 <span> </span> ∥ <span> </span> 著名久井直子 <span> </span> ∥ <span> </span> 装丁	集英社	2009
<b>てのひらの味 食べ物の俳句</b>	村井康司 <span> </span> ∥ <span> </span> 編とくだみちよ <span> </span> ∥ <span> </span> 絵名久井直子 <span> </span> ∥ <span> </span> デザイン	岩崎書店	2009
<b>ポトスライムの舟</b>	津村記久子 <span> </span> ∥ <span> </span> 著名久井直子 <span> </span> ∥ <span> </span> 装幀	講談社	2009
<b>灰色猫のフィルム</b>	天竺裕文 <span> </span> ∥ <span> </span> 著名久井直子 <span> </span> ∥ <span> </span> 装幀	集英社	2009
<b>白い花と鳥たちの祈り</b>	河原千恵子 <span> </span> ∥ <span> </span> 著名久井直子 <span> </span> ∥ <span> </span> 装幀	集英社	2010
<b>真屋なのに昏い部屋</b>	江國香織 <span> </span> ∥ <span> </span> 著名久井直子 <span> </span> ∥ <span> </span> 装丁	講談社	2010
<b>幸福3丁目商店街 ハートのエースがでてこない</b>	村上しいこ <span> </span> ∥ <span> </span> 作センガジン <span> </span> ∥ <span> </span> 絵名久井直子 <span> </span> ∥ <span> </span> 装幀	理論社	2010
<b>さよならをいえるまで</b>	マーガレット ワイルドぶん/名久井直子 日本語版デザイン	岩崎書店	2010
<b>子どものころにふれる整体的子育て</b>	山上亮 <span> </span> ∥ <span> </span> 著名久井直子 <span> </span> ∥ <span> </span> 装幀	クレヨンハウス	2010
<b>野川</b>	長野まゆみ <span> </span> ∥ <span> </span> 著名久井直子 <span> </span> ∥ <span> </span> 装丁	河出書房新社	2010
<b>「働きたくない」というあなたへ</b>	山田ズーニー <span> </span> ∥ <span> </span> 著	河出書房新社	2010

<p>【参考文献】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>岩手県立博物館編『本の装い』（岩手県文化振興事業団1999）</li> <li>『岩手グラフィックデザインの流れ―九一〇―二〇〇二展』（萬鉄五郎記念美術館2002）</li> <li>浦田敬三ほか著『いわて人物ごよみ365人』（熊谷印刷出版部2006）</li> <li>福田繁雄著『福田繁雄のトリックアート・トリップ』（毎日新聞社2000）</li> <li>日本図書設計家協会編『装丁の仕事187人』（玄光社2005）</li> <li>工藤強勝監修『編集デザインの教科書』（日経BP社2008）</li> <li>obscure inc. 編『本と雑誌のデザインがわかる本』（ソシム2007）</li></ul> <p>【参考ウェブサイト】</p> JAGDA IWATE 日本デザイナー協会岩手地区( <a href="http://www.morioka.jp/jagda/">http://www.morioka.jp/jagda/</a> )
--

**岩手県立図書館** 〒020-0045 岩手県盛岡市盛岡駅西通1-7-1（電話）019-606-1730（FAX）019-606-1731（HPアドレス） http://www.library.pref.iwate.jp/